



No.3155

第3472回例会  
平成28年2月17日

DISTRICT 2500

## OBHIRO ROTARY CLUB

方針 奉仕を楽しみ、実践しよう

会長 讃岐 武史

2015—16年度国際ロータリーのテーマ 世界へのプレゼントになろう

## ■会長報告



## 讃岐 武史 会長

皆さんこんにちは。今日は小沢幹事が無事退院されほっとしております。先週までいろいろご迷惑をお掛けしました。

今月23日はロータリーの111回目の創立記念日です。2月のお誕生日祝いの時にお知らせするのを失念しておりましたので、改めて報告します。RIからは各クラブ独自にお祝いを企画して下さいと連絡がありましたが、当クラブは静かに祝いたいと思います。

既に皆様には新入会員の御紹介で連絡済みですが、宮坂寿文会員から業務多忙で例会に出られず心苦しいので、常務本部長の高道伸さんと交代したいと申し出がありました。一度例会に出られてから退会されたら如何かお聞きしましたが、例会参加が難しいので皆様にはくれぐれも宜しくとお伝えくださいとの事でした。従いまして宮坂会員は高道さんと入れ替わりで退会となります事を報告させて頂きます。

次に来週の例会は明日に繰り上げとなり北海道ホテルにて開催されます。本日の例会がノースランドで行われる2月最後の例会です。そして3月3日の第一例会ですが、私がこの10年事務局を務めています帯広マディソン交流協会の事業で、帯広市の姉妹都市アメリカのウィスコンシン州マディソン市へ行きます。その為、例会を欠席となりますので、予めお伝えさせて頂きます。

今年の9月頃、姉妹都市交流10周年のイベントがマディソン市で開催されます。一度行ってみた方はどうぞ遠慮なく私へご相談下さい。マディソンロータリークラブへのメッセージも面白いかもしれません。

さて本日のプログラムは会員増強委員会の野村副委員長から、更なる会員増強のテーマでお話を頂きます。どうぞ宜しくお願いします。

## ■プログラム 「さらなる会員増強のために」

## 会員増強委員会

野村 文吾 会員



皆さま、改めまして、こんにちは。只今ご紹介頂きました、会員増強委員会副委員長をさせて頂いております野村でございます。今日は委員長の高原先輩が、出張の為にどうしても担当例会を欠席しなければならないという事で、急きょ「お前がやれ」という事で準備をしまして本日を迎えました。至らない点があるかもしれませんが、どうぞ皆さまのご協力のもと、この後の30分、33分ですね、使わせて頂きまして会員増強委員会の担当例会をさせて頂きたいと思っております。

先ほど会長から「本日は変わった趣向で」というお話が有りましたが、途中で今年の新入会員の方に登壇していただいて、現実的にはどうだったのかという事を、質問形式でやりとりしたいと思っております。そんな例会を考えております。

現在の状況から説明いたしますと、帯広ロータリークラブ2015—16年度は87名からのスタートで有りました。

8月6日会員増強委員会第1回目の担当例会をさせて頂きまして、委員会毎に皆さまに今年の目標数字と実際に入会して頂く目標数字を決めて頂きました。覚えておられる方は少ないと思いますが、帯広ロータリークラブ全体では声掛け数字は39名。それから入会を決めて頂く数字は14名ということで、非常に頼もしい数字を挙げて頂きました。

会員増強委員会本年度の目標値は純増5名という事で臨んでおりますから、14名入会して頂けるという目標ですから、さらなる確率で5名を達成すると考えていたところであります。

今現在、2月1日現在どういう事になっているかと言いますと、94名になりました。7名増であります。9名増でありまして、2名残念ながら退会の方がいましたので7名増となっております。そのうち純増というのは5名ですので、上半期で既に目標を達成しているという状況であります。

この後、退会者が出ないように、皆さまで一生懸命フォローアップして頂く事と本例会の題材でもあります「さらなる会員増強に向けて」という事でありますので、この後、実例を聞いた後に、今日は委員会毎に席を配置しておりますから、この後、下期は実際にあと何名やるのかという事を決めて頂いて今日の例会を終わりたいと考えているところであります。

実際今、本年度、讃岐会長が随分と行動を起こして頂きまして、先ほどの9名増のうちの半分以上が讃岐会長が勧誘しているという現実もあります。

今、企業におきましても、新入社員ならびに社員の募集というのが非常に厳しい時代になってきました。技術系はさらに難しい時代になってきたと言われていた中、採用コンサルタントの話を聞きますと、まずトップの顔を見せるべきだと。そしてトップの声を聞かせるべきだと。これは何を言っているかというホームページ上にトップの顔写真とトップの考えを、文字も出して、音声でトップの声を載せるべきだという風に言われておりましたが、さらにその上を行く実践をされたのが讃岐会長なのだと思います。

自ら新入会員の候補者のところへ出向いて行ってお声を掛けて、そして自らの声を直接聞かせて熱意を伝えて入会に至っている訳ですから、これほど強い行動はないと思います。

2月3日例会 会員総数94名(内免除会員5名)

出席  
報告

出席者数 70名

欠席者16名

メークアップ 8名

(名)



改めまして、あまり褒められて本当に心苦しいのですが、そんなにも志高くないですね。

まあ私が会員増強という一生涯懸命に勧誘したというのは、別に今急にやった訳ではなくて数年前からお声を掛けさせて頂いているという事と、志が悪いのかもしれないですけど、会員増強をしないと、とても回らない予算を組んでしまった関係で必死に会員増強をしていました。今年度もあと4ヶ月位ですけど、なんとか予算は回るのかなと思っている状況でございます。

端的に申しますと、常に声を掛けていくという事だけだったと思います。伊藤さんなんかはね、3年位ずっと声を掛けて、会う度に「いつ入るんだ、入るけじめをつけろ」という事を言っているだけなので、まあそういう事でございます。

あまりお褒めを頂くような行動はしていませんので、報告することは無いのですが、常日頃声を掛けて迫っているという事だけでございます。個人的には、なんとか2~3名、今年中に私の友人を入れたいと思っておりますので、どうぞご協力よろしく願いいたします。

讃岐会長ありがとうございます。讃岐会長の言葉にも有りましたように声を掛け続けるという事は大切だよと、しかも数年にわたって掛け続ける事が重要なのだというお話が有りましたが、全くその通りだと思います。

人と人の事で、会った瞬間に波長が合う合わないというのは有るのかもしれませんが、信頼ができるまで時間と回数が必要なのだと思います。是非ここにいらっしゃる皆さま、引き続きお声を掛け続けて頂いて、何年か後に芽が出て実が成って刈り取る、刈り取るという言葉はちょっと適切では無いかもしれませんが、そのような心持ちでお願いしたいと思っております。

それと、もう一つ、使命感が重要だという風に言われていたと思います。讃岐会長は「予算の関係上」と言われましたけれども、それは建前で有って本音の所はやはり会長としての使命感から、しっかりと行動されたと受け取りました。

本当に素晴らしいこの上期の流れだったと思います。私も担当委員会の副委員長でありますが、委員長に成り代わりまして讃岐会長と、ここにいらっしゃる皆さまに御礼を述べたいと思っております。本当にありがとうございます。

それでは実際、現実にはどうであったかという事をお聞きしたいと思っておりますので、1月6日に入会された会友ホヤホヤの伊藤 秀俊さんに、ご登壇頂きまして、お話を伺いたいと思っております。

また、もう一人、伊藤さんをご紹介くださったのは、讃岐会長もお声掛け頂きましたが、当委員会の大森会員も伊藤さんにお声掛けを頂いていたとお聞きしておりますので紹介者の御一人として、また会員増強委員会の、今日の担当例会の担当委員会委員としてご登壇頂いて声をかけた側の実情を、お聞きかせ頂きたいと思っております。

それでは大森会員、伊藤会員ご登壇お願い致します。私の方から質問を振りますのでお答えを頂いていこうと思っております。

それでは質疑応答で話をさせて頂きたいと存じます。

まずは伊藤会員にお聞きしたいと思います。伊藤会員、この帯広ロータリークラブに入る切っ掛けとなった出だしは何だったのでしょうか？

はい、切っ掛け・出だしと言いますと、私は40歳までJC活動をさせて頂いたもので、そのJCの先輩から卒業間近になりましたら、一緒にロータリーをやらうとお声掛けを頂いたのが最初ではあります。

実際に大森会員に声を掛けられた時には、どんな感じだったのでしょうか？一緒にやりましょうという事で頂いた時は、やはり毎週お昼という所が自分の中では来られるのかなという心配が有り躊躇した場面も有ったのですけれども「大丈夫だよ」と声を掛けて頂いたもので、入会させて頂くかなと思えました。

ありがとうございます。では実際にお声掛けをした大森会員、具体的にどんなお声掛けをしたのでしょうか？



多分、お声掛けをした側と受け手では多少ニュアンスが違っているのだと思うのですね。何を言いたいのかというと、我々が実際に声掛けてしていく時に声を掛ける側と受け手には必ず差があると、これを理解して声を掛けていかないとうまくいかないという事になるのでは無いかと。そのことを感じて頂きたいと思って質問をしております。

大森会員、実際にはどんなお声掛けをされましたでしょうか？  
最初、いつ頃かは、はっきり分からないのですが、我々の一番大きな代理店さんとしてJCをやられたという話も色々聞いておまして、懇意にさせて頂いている中で、何気なく話していたのが切っ掛けで、ですから、いつ頃話したというのは分からないのですが、私は会員増強委員会の一員なので、やっぱり使命感が有り最低でも1人は入会して頂かないといけないう所も有りまして、去年になってから正式に伊藤さんに、そろそろいかがですかとお願ひしたと言う所ですね。

今、有りますように掛ける側は、あまり掛けられる側の気持ちって考えていないのですね。掛けられる側は非常に恐れているわけですよ。どうなっちゃうのだ自分。お昼毎週行けるかなとか。そこはロータリーに関わる事のない入会前の方というのは同じような不安を抱えているのだと思います。

実は私もですね、高橋勝垣会員に声を掛けられた時に、毎週は行けないなと思いました。高橋勝垣会員はロータリーは非常にゆるやかに進んでいる長くやる所だから、最初から肩肘張らなくて大丈夫だよと。ゆっくりやりなさいと。そんな会だからと言って柔らかく柔らかく言ってくれたので、最後は分かりましたと思ったという記憶を思い出しました。

気軽に声を掛けていても、言われる側は非常に不安を持っている。ここを注意して頂いて声を掛けて頂ければ成功確率が、入会確率が上がっていくのかなと思います。

では、さらに質問を変えまして伊藤会員にお聞きします。入会を決めた建前上の理由は何か？

建前上という事は特に無いのですが、やはり入会させて頂くのであれば、歴史と伝統のある帯広ロータリーに入会させて頂きたいというのは有ったのです。それとやはり、十勝の有数の企業の素晴らしい経営者の方達がいらっしゃるという所で、自分にとっても何かまた色々勉強させて頂きたいという所が凄く有って決めました。

今お聞きになったように歴史と伝統、素晴らしい先輩達がいるという建前では無いと思うのですが、それを言われるという事は、僕は非常に一つのネックポイントになっている部分も有るのじゃないかなと思うのですね。

その建前の部分、本当の事だと思うのですが、そのことが重しになっている事も有るので、声を掛ける側は、そこもやはり気遣って頂かないと本人は不安が募ってしまうだろうなと。

最初から歴史と伝統のあるクラブだから、いいぞという話をされる際に、一つ二つ何かを付け加えて、説明をすると良いのではないかと感じております。

それでは大森会員にお伺いします。入会を決めてもらったポイントは何だったと思いますか？最終決定、意思決定をするのに伊藤会員が、それなら分かったと言ってくれたポイントが何だったと思いますか？

伊藤会員としては、いずれは入らなきゃいけないというような心づもりが有ったのじゃないかなと思っておまして、実を言いますと私も強く入会を依頼しなかったのは、お付き合っている中で凄く多忙でですね。団体生保業務という、我々の会社の業務も有りまして、非常に時間が取れない方で、だけどロータリー活動をして頂く中で、その時間を取って頂かないといけないう事が、当社としても代理店業務が短くなるというのが、どうなのかなと言う悩みも有りまして。ロータリー活動をして頂く中で、また仕事の視野も広げて頂いてお客様の拡大もさせて頂ければ良いかなという所が有りまして。

それと先程言われました様にですね会員増強委員会に入らせて頂いたのでも最後は押し通しました。

それともひとつ実は水曜日の昼というのは某会社の団体保険の募集時間帯で有りまして、それがちょうど重なっている物理的に不可能な状態だったのですが、私がお客様に、無理を押しして、その日程を変えて頂いたという所がポイントだったと思っております。

それでは、受け手側の伊藤さん、そのような思いで大森会員から声掛けが有ったとの事なのですが、実際に入会を決めた本音としての理由は何だったのでしょうか？

仕事から保険の損保代理をしているのですが、同業者が居ないとの話も伺いまして、ちょっとビジネスチャンスも見られるかなという所も有りながら入会を決めさせて頂きました。

いわゆる職業奉仕に関わる話だったと理解を致しました。大森さんは仕事の事を気遣ってのお話で、伊藤会員からも仕事上の直接間接どちらにしても仕事に貢献出来る様な部分があるだろうと。そして最後に大森会員が言われたのは、押し込んだと、会社の権限を使って押し込んだと、やはり、押しという事も大切なんですね。ちょっと後ろに雰囲気醸し出しながら押すというも大切なのかと。

お二人は実に如実に入会に至っていくプロセスを教えて頂いたと思います。職業奉仕を通じて自分の生業がどのように貢献していけるか、そしてまた反対に地域への貢献のリターンというのはちょっとおかしいですけど、反対として自分の会社にどういった影響が有るのか、そんな事が重要なのかな。そして仕事の事を気遣っておきながら強く押す。これも推薦者の側としては重要なのだという事が見えてきたのではないかと思います。

そでは最後に再び伊藤会員にお話を聞きたいと思います。他クラブからも、きっとお声掛けが有ったと思います。他クラブからのお声掛けの内容はどんなものだったのですか？

他クラブの方、先輩からはですね歴史の有る帯広ロータリークラブだと、とても怖い先輩も多いぞ、と言う様な話も頂きながら、例会も休んじやいけないんだぞと、そんなような事を言われながらいたので、やはり当初そこまではちょっと出来ないかなという思いが強かったです。

まさしく最近入会された方達はみんな耳にした話なのだと思います。かく言う私も色んな先輩から言われました。実に帯広ロータリークラブの事を周りのロータリークラブの皆さんはご冗談がお好きなようで、事実と違う事も囁かれる様な部分もちょっと垣間見られたのですが、実際は入会してどうであったか。ここをちょっと伊藤会員の口からお願ひいたします。

実際に入会させて頂きまして、まだ1ヶ月ちょっとなので分からない面もいっぱい有るのですが、思った以上に優しい方々ばかりですし、もっとと緊迫しているような状況なのかなと思っていたのですが、わりと来やすくなる状況だったものですから、良かったと思っておりました。

あと夜の情報交換会に参加させて頂きまして、色んな方々とお話させて頂く中で本当に為になるお話も頂きましたし、非常に今は入会させて頂いて良かったと思っております。

ここにありますように、入会する前と入会した後のイメージ・印象がずいぶん違うと感じられたというお話で有ると思います。ですから我々も新しい方をお誘いする時に、そこらへんをしっかりとお伝えするべきなのかと。そしてまた会員交流によって様々な人間形成や成長、自らの人格の成長や仕事に有益な情報交換が出来るのだというような所も合わせてお伝え頂くと、きっと今回の伊藤会員の様にスルッと入会して頂けるのじゃないかと感じた次第であります。

今、冒頭から何回かお聞きしたと思いますが、誘っている側と誘われている側では、まったく違うことを感じているのだと、これをよく受け止めて今後の新入会員募集の行動に移して頂きたいと思っています。

これはですねご本人達、自らも言われましたがドラッカーも言っているのだ、すね、誘う側と誘われる側は全然違う事を考えているのだと。実際に誘われた人、誘った人に聞いてみると分からないんだとドラッカーは経済学の中で言われているのですが、これはやはり団体の活動の中でも全く同じ事が繰り返されているのだと思いますので、ぜひ皆さま今日から気持ちを少し切り替えて、今のお話を活用してお声掛け頂ければと思います。

今日は委員会毎にテーブル配置をさせて頂いております。少ない所は会員同士と一緒にさせて頂いてもかまわないのですが、もう一度、あと委員会で何名誘いたいかということ話し合せて頂いて締めて頂きたいと思います。

今回は集計は取りませんが、ぜひ委員会が真剣に議論して今年の残り5ヶ月の目標を決めて頂ければと思います。

■会務報告

①帯広5RC・芽室RC・音更RC、7RC合同例会開催のご案内

日 時 2月18日(木)午後0時集合  
場 所 北海道ホテル  
講 師 佐藤和孝氏(ジャパンプレス 代表)  
～スケジュール予定～  
・12:00 会 食 12:40 講 演  
・12:30 例 会 13:30 終 了  
※尚、帯広南RC、2月15日(月)の繰下げ例会と致します。  
帯広東RC、2月16日(火)の繰下げ例会と致します。  
帯広北RC、2月19日(金)の繰上げ例会と致します。  
帯広RC、2月24日(水)の繰上げ例会と致します。

②帯広RC、創立記念夜間例会開催のご案内

日 時 3月9日(水)午後6時  
場 所 ホテル日航ノースランド帯広  
二次会 ウィンザー

③帯広西RC、創立記念例会開催のご案内(夜間例会)

日 時 2月25日(木)午後6時30分  
場 所 北海道ホテル

④帯広南RC、2月29日(月)の例会は、休会と致します。

■委員会報告

・米山功労者表彰

倉野 賢 会員

・ニコニコ献金

小沢 昌博 会員

この度、入院中、大変皆様に御心配、ご迷惑おかけ致しました。無事回復致しました。

倉野 賢 会員

会員増強の表彰を頂きました。ありがとうございます。

・出席表彰記念

小沢 昌博 会員

・出席報告

2/17例会の報告 会員総数94名 内免除会員5名 出席者数52名  
2/3会の報告 メークアップを含む出席者数78名 出席率85.7%

■次週プログラム予定

2月18日(木) [7RC合同例会] (国際奉仕委員会)  
※2/24(水)繰上げ例会

小沢 昌博 幹事

米山記念奨学委員会

親睦活動委員会

出席委員会



↑携帯サイトが  
できました。  
バーコードリー  
ダーで読み込む  
事ができます。

例会日 / 水曜日 12:30 ~ 13:30

●創立 / 昭和 10 年 3 月 15 日

●事務局 / 帯広市西 3 条南 9 丁目 経済センタービル 4F

●発行 / クラブ広報

●委員長 / 小林 義幸・副委員長 / 工藤 稔

委 員 / 高橋 猛文・和田 賢二・高原 淳・神山恵美子・渡部 聡・加藤 健吾

●ホームページアドレス / <http://www.obihiro-rc.jp>

例会会場 / ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●認証番号 / 3820 ●戦後再開 / 昭和 25 年 12 月 19 日

●事務局長 / 帯広市西 3 条南 9 丁目 経済センタービル 4F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行 / クラブ広報

●委員長 / 小林 義幸・副委員長 / 工藤 稔

委 員 / 高橋 猛文・和田 賢二・高原 淳・神山恵美子・渡部 聡・加藤 健吾

●ホームページアドレス / <http://www.obihiro-rc.jp>